

分科会（総務産業建設分野）

長期総合計画の基本目標6

「便利で快適に暮らせるまち」

下澤 委員(座長)、原 委員、
榎本 委員、古宮 委員、
井上 委員、奥泉 委員

施策分野2 公共交通

施策2 バス交通の充実

決算額
約1億2,000万円

分科会での主な意見

地域公共交通会議では収支率が1%未満なら結論を早期に判断するべきと有識者からの助言があった。



町内を走るコミュニティバス

地域住民との意見交換会、住民アンケートなどを行い、ルート変更やダイヤ改正につなげようと努力したことは評価できるが、住民の声への反映には課題が残る。

昼間人口が多いので通勤に利用してもらえるように事業者などへの働きかけも必要だったのでは。

利用者が少ないルートはデマンドタクシーへの調査だけでなく導入に向けて検討すべき段階であった。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

施策分野4 道路・河川

施策2 町道等の整備と適切な維持管理

分科会での主な意見

4年度に道路整備方針を策定したことは評価できる。

方針ではなく整備計画が早く示される事が望まれる。

道路照明灯のLED化は計画通り進められた。



白線が消えかかっている道路

道幅の狭い道路の生活への影響について、周辺住民の声を広く聞く必要があるのでは。

道路の白線が消えている所が多く、安全確保に向けて適切に対処するよう町側に申し入れるべきでは。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

成果は上げられたのか 議会の判断は！



討議の様子

決算特別委員会3日目は、討議事項を抽出し、総務産業建設分野、厚生文教分野それぞれの内容について分科会形式で討議を行いました。分科会での討議終了後、両座長より討議結果について報告があり、全体で合意形成を図りました。

分科会（厚生文教分野）

長期総合計画の基本目標2

「子どもたちがのびのびと育つまち」

下野 委員(座長)、香取 委員、
森 委員、大坪 委員、大和 委員、
高橋 委員、川島 委員

施策分野5 確かな学力の育成と個性と創造力の伸長

施策1 全ての児童・生徒に確かな学力を育む

分科会での主な意見

漢字・英語検定費用が全額公費のため、自ら進んで挑戦したい児童・生徒ばかりではない可能性がある。検定を受ける意義を理解するなど動機付けが必要。

タブレットを持ち帰らせている自治体もあるので検討は必要だ。

GIGAスクールの事業費は5年間で1億5,000万円。教員のスキルアップが一層求められる。



地域の方々による放課後学習「学びのテーマパーク」では、引き続き人材不足解消が課題である。

自宅学習や長期間通学できない児童・生徒にもタブレットは有効だと思う。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。